

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）
（602）

2. 日時：令和6年1月22日 13時25分～13時35分

3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

天野安全管理調査官、宮本上席安全審査官、秋本主任安全審査官、
片桐主任安全審査官、熊谷主任安全審査官、建部主任安全審査官、
藤原主任安全審査官、大塚安全審査官、小野安全審査官、中原安全審査官、
平本安全審査専門職、田代審査チーム員

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）※、他13名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

（1）泊発電所3号炉 残されている審査上の論点とその作業方針および作業スケジュールについて

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい原子炉規制庁の宮本ですそれでは泊3号機についてどこされている審査上の論点のその作業保障及び作業スケジュールについてのヒアリングを開始しますので、説明の方お願いします。
0:00:14	はい。北海道電力の金岡です。資料の1をもとに論点とスケジュールについて、全体スケジュール及びプラントに関わる主な変更内容を説明させていただきます。
0:00:27	まず論点表のほうになりますけれども、23ページをご覧ください。
0:00:36	23ページこちらの前書きの特記事項のところになりますけれども、今回はクリティカルパスの説明周期を、2024年4月から6月に変更しておりますので、その理由を、
0:00:50	2項目記載してございます。
0:00:53	一つ目の矢羽根のところですがけれども、こちらは、ハザード側の基準津波について、説明に要する期間ですとか、説明順序等を検討した結果、
0:01:04	2月にまとめて説明を予定していた項目の審査会合ですね2月と7月に分割して、説明するように見直しております。
0:01:15	これに伴いまして関連するスケジュールでありますプラント側の津波PRAの説明完了時期、これを4月から6月に今回変更してございます。
0:01:28	二つ目の矢羽根ですがけれどもこちらはプラント側の耐津波に関連するところですがけれども、
0:01:35	これまでの審査における指摘対応を踏まえまして、入力津波の管路解析を追加することによりまして、工程を延期してございます。このため耐津波の一通りの説明を完了する時期、
0:01:50	これを4月から6月に変更したというのが二つ目の理由となっております。
0:01:56	その他論点表につきましては、これ以外に、変更している箇所がございますけれども、作業進捗ですとか、説明内容を適正化すると、というようなところで変更を行っておりますので、
0:02:10	詳細については割愛させていただきます。
0:02:14	続きましてスケジュールについて、44ページをご覧ください。
0:02:22	44ページ、こちらはハザード側のスケジュールになりますけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:28	下の方になりますが、通しナンバーの18番の項目です。
0:02:33	防潮堤外の地盤斜面の安定性という項目ですけれども、こちら、先週金曜日にハザード側の審査会合ありまして、その時に指摘事項をいただいております。
0:02:46	その指摘事項への対応を行うためにですね、審査スケジュールの変更が必要になってございます。
0:02:55	本日の資料にはまだ反映できていないんですけれども、今後提出する資料には、1月15日の週の星印の審査会合に、
0:03:05	吹き出しを追記いたしましてその吹き出しに、審査会合の指摘事項を踏まえ、説明スケジュールを別途設定する、過去検討中と。
0:03:15	というような旨を吹き出しでですね、追記して、検討中である旨を識別させていただきたいと考えてございます。
0:03:23	変更後のスケジュールにつきましては、全体スケジュールへの影響も含めまして、2月の上旬または中旬の面談で、ご説明をさせていただきたいと考えてございます。
0:03:37	この部分を、今後の資料に吹き出しを追記させていただきたいと考えてございます。
0:03:43	続きまして45ページをご覧ください。
0:03:49	こちらからがプラント側のスケジュールになりますが、通しナンバーの21番、耐津波に関わるところで、
0:03:56	ピンク色の工程バー三本を引かれているところございますけれども、こちら解析期間になりますが、ヒアリングでのご指摘対応を
0:04:07	期間を踏まえまして、こちらのスケジュールを延長してございます。
0:04:12	これに間これに関連線で繋がる、ピンク色の工程場ですとか赤色太線のクリティカルパス、こちらを連動してスライドしてございます。
0:04:23	この結果ですね、開津波の説明完了時期が4月の末から6月末に、今回変更してございます。
0:04:33	あとその下の漂流物や、取放水流入防止につきましても、一通りの説明として、6月末の週に審査会合を追加してございます。
0:04:45	同じくこのページですけれども、耐津波について審査項目相互の優先順位を踏まえまして、審査会合での説明項目、時期を見直してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:58	同じく燃料等輸送線の検討結果を説明する審査会合時期ですけれども、
0:05:05	これまでの審査での指摘対応を踏まえまして、2月末に予定していた審査会合を、7月の15日の週の審査会合に検討結果を説明するということにエミ直してございます。
0:05:19	このページ一番下に、下の方になりますけれども、包丁ての高さ変更に伴う他条文影響の説明時期、これを、
0:05:27	入力津波の会合時期と合わせて、4月15日の週の審査会合時期に設定してございます。
0:05:35	最後46ページをご覧ください。
0:05:42	通しナンバー23番の、アクセスルートと火山灰層厚評価のスケジュールですけれども、
0:05:49	前段で説明する審査会合の指摘対応を、資料に反映する期間等を確保するために、
0:05:58	審査会合時期を4月から、今回5月に見直してございます。
0:06:05	あとその他、吹き出しや変更理由について、論点表との整合を図るために表現を適正化するというような見直しを行ってございます。
0:06:13	資料についての説明は以上となります。
0:06:18	はい、ありがとうございました。質問等あれば、
0:06:23	私の方から確認ですみません。先ほどあった44ページの、
0:06:28	先週あった
0:06:32	ハザード側の会合を踏まえて指摘事項の対応ということになってるんですけど、次のこれ日や当会合のときには、その吹き出しがつくんですか、つかないんですか。
0:06:43	北海道電力の金岡です。次の2月1日に予定しております審査会合ですけれどもその段階では吹き出しをつけさせていただきたいと考えてございます。
0:06:54	以上です。という意味ということであれば、この資料から、
0:06:59	追加されるという、そういう認識でいいですかね。
0:07:04	北海道電力の金岡ですはい、そのご認識で結構です。
0:07:08	はい。それとあとですね、
0:07:10	今の話で指摘事項は踏まえて46ページのところに行ってアクセスルートに繋がってると思うんですけど、No.18から流れてきている。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:18	これについては、今まだC r i t i c a l も何でもなってないんですけど、
0:07:23	ここの今言われたのはこの 23 番も変更になるのかならないのかっていうと、
0:07:31	これはならないんですかね。
0:07:34	北海道電力の金岡です。こちらの 23 番の工程の皆おしいについても検討中となりますので、
0:07:44	検討結果につきましては、2 月の上旬、以降の面談でですね、ここ、こちらの 23 番のスケジュールも含めて、
0:07:54	見直しが必要であれば見直したスケジュールをご説明をさせていただきたいと考えてございます。以上です。はい、わかりました。私からは以上ですけど、他、何かあれば。
0:08:07	じゃあなければ、これでヒアリングの方を終了したいと思いますありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。